

報道関係者各位

2012年1月20日

5軸加工 CAM システムの最新版 TOPcam M5 v6.12J を2月1日に発売

コダマ コーポレーション株式会社(本社:神奈川県横浜市、代表取締役社長:小玉 博幸)は、5軸加工用 CAM システム TOPcam M5 の最新バージョンである「TOPcam M5 v6.12J」を2月1日(水)に発売するのでお知らせ致します。

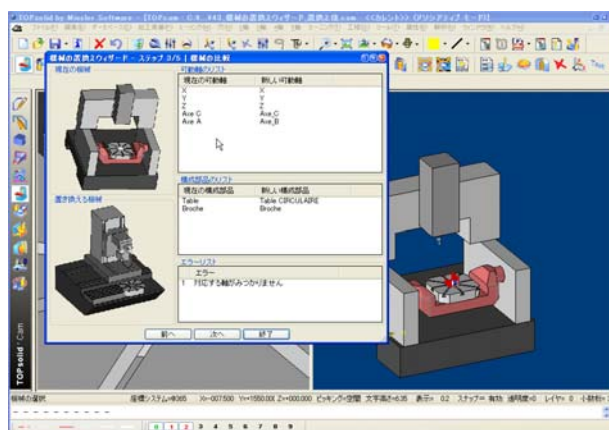
TOPcam M5 は、5軸加工に対応した部品加工用 CAM システムで、3次元 CAD システム TOPsolid と統合したことで、いつでもジグの設計を行え、標準装備のマシンシミュレーションで高効率なツールパスを安全に作成できる特長を持ち、航空宇宙、医療分野の部品加工に用いられています。

今回発売する最新バージョン TOPcam M5 v6.12J の主な新機能を以下にご紹介します。

なお、2月1日(水)から3日(金)にパシフィコ横浜にて開催されるテクニカルショウヨコハマ 2012 の当社ブースでもこの最新版を展示します。

ツールパス作成後の工作機械の変更

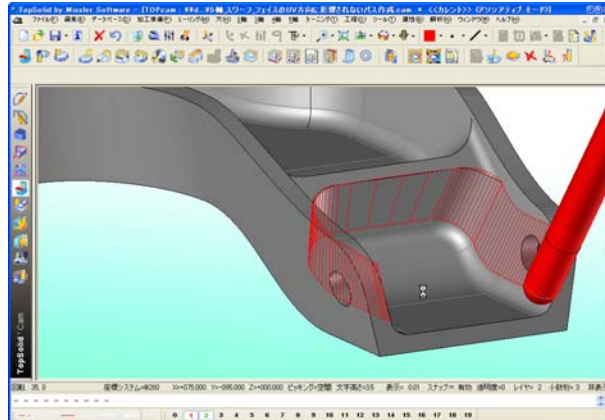
ツールパスを作成した後も、1.保存方法の選択、2.工作機械の選択、3.軸の置換え、4.工具の選択、5.配置位置の調整とわずか5つのステップで簡単に工作機械を変更できるようになりました。使用する機械が確定していなくてもツールパスの作成を始められ、加工リードタイムの短縮を実現します。



新しい工作機械を選択し、軸の置換え、工具の選択等を簡単に行える
機能紹介動画 <http://www.youtube.com/watch?v=aHGruV2qnkg&hd=1>

傾けた工具の側面で切削するスワーフ加工

連続性が低い隣接する曲面にスワーフ加工を行う場合、従来は曲線や曲面の作成が必要でしたが、最新版では隣接する曲面を指定するだけの簡単な操作で高品質な加工を行えるようになりました。スワーフ加工には、指定した長さを超えるエアカット(空切削)を自動的に省略して加工時間を短縮する機能、複数の工程を一度にまとめて演算して操作時間を短縮する機能も追加されました。

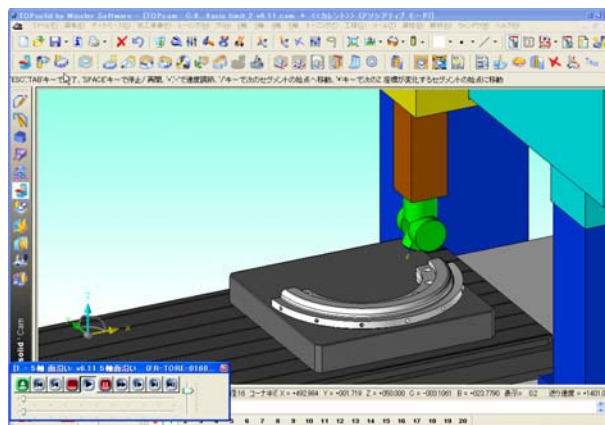


連続性が低い隣接する曲面に作成したスワーフ加工

機能紹介動画 <http://www.youtube.com/watch?v=IPbisM686rk&hd=1>

機械の可動範囲を超える場合の制御

回転軸が可動範囲を超える場合の制御を、前バージョンまではポストプロセッサで処理していましたが、最新版ではツールパスの作成時に、工具軸角度、回転軸のリセット方法を定義できるようになりました。



稼働範囲を超える場合の制御

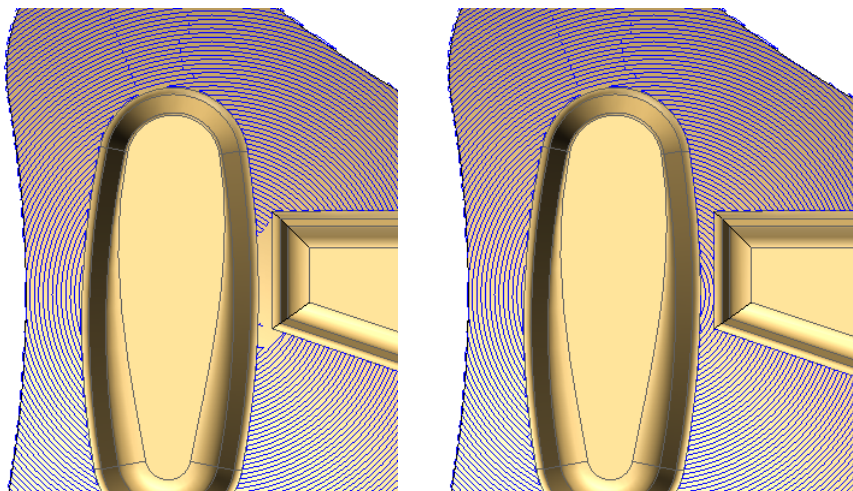
機能紹介動画 <http://www.youtube.com/watch?v=IPbisM686rk&hd=1>

3軸加工を5軸加工に変換

干渉を回避するために、従来のチルト角(工具進行方向への工具の傾斜角度)だけでなく、リード角(工具進行方向と直角方向への工具の傾斜角度)も調整できるようになりました。そのため、従来は

工程を分ける必要があった加工でも一度に加工できるようになりました。

また、アンダーカット部へのツールパスをより少ないステップで作成できるようになりました。



チルト角のみでの調整
(従来バージョン)

チルト角とリード角での調整
(最新バージョン)

対応している OS Windows 7 Professional、Ultimate
 Windows Vista Ultimate、Business、Enterprise
 Windows XP Professional SP3

価格 4,431,000 円

年間のメンテナンス料金を含まない、ソフトウェアライセンス使用权のみの標準価格(税込)です。

お問合せ窓口

コダマコーポレーション株式会社 事業推進室 中條 貴之

TEL 045-949-1331 FAX 045-949-1515 E-mail bizinfo@kodamacorp.co.jp

URL <http://www.kodamacorp.co.jp/>

- * このプレスリリースに記載された会社名、商品名は、各社の商標、または登録商標です。
- * このプレスリリースに記載された情報は、発表日現在の情報であり、時間の経過または様々な後発事象によって変更される可能性がありますので、あらかじめご了承ください。